

審議対象資料●. 現行ＪＣ基金規定とＪＣ基金規程変更案の対比表

		現行規定			変更案
					<b>第 1 編 J C基金規程</b>
第 1 条		社団法人札幌青年会議所（以下「本会」という。）は、北海道及び札幌市の経済、文化並びに福祉の増進に貢献せんとする特別事業の目的遂行のため本会 J C基金を設定する。	第 1 条 設定		一般社団法人札幌青年会議所（以下「本会議所」という。）は、北海道及び札幌市の経済、文化並びに福祉の増進に貢献せんとする事業の目的遂行のため J C基金を設定する。
第 2 条		本基金は札幌青年会議所が推進する社会開発運動によって定められた事業のための資金として運用する。	第 2 条 運用		J C基金は本会議所が推進する社会開発運動によって定められた事業のための資金として運用する。
第 3 条		基金の運営並びに支出は理事会の決議により理事長が行う。	第 3 条 運営 及び 支出の主体		J C基金の運営並びに支出は理事会の決議により理事長が行う。
第 4 条		本基金は次の各号に掲げるものをもって収入とする。 1）会員拠出金 2）寄付金 3）その他の収入	第 4 条 収入		J C基金は次の各号に掲げるものをもって収入とする。 (1) 寄付金 (2) その他の収入
第 5 条		会員は年額 3, 0 0 0 円を拠出する。			
第 6 条		会員拠出金の徴収は 1 月に会費とともに徴収する。			
第 7 条		本基金の支出は前年度に発生した利息と当該年度会員拠出金との合計額を限度として支出することができる。	第 5 条 支出		J C基金の支出は前年度に発生した利息と当該年度に拠出した金額との合計額を限度として支出することができる。
第 8 条		本基金は基金とし、毎年 1 2 月決算を行う。	第 6 条 決算		J C基金は一般会計とし、毎年 1 2 月決算を行う。
第 9 条		理事長は予算および決算を作成し、一般会計と同様の手続きにより、総会の承認を得なければならない。	第 7 条 総会の承認		理事長は予算及び収支を作成し、総会の承認を得なければならない。
附則		本規定は昭和 4 8 年 3 月 1 2 日より施行する。			

審議対象資料●. 現行入会金基金規定と基金規程変更案の対比表

		現行規定			変更案
					<b>第 2 編 入会金基金規程</b>
第 1 条	1	社団法人札幌青年会議所（以下「本会」という。）は北海道および札幌市経済、文化並びに福祉の増進に貢献せんとする事業又、その他理事会で承認する目的遂行のため本会入会金基金を設定する。	第 8 条 設定	1	本会議所は北海道及び札幌市経済、文化並びに福祉の増進に貢献せんとする事業又、その他理事会で承認する目的遂行のため入会金基金を設定する。
	2	会員の未収入金は、本基金会計より補填することができる。		2	会員の未収入金は、入会金基金より補填することができる。
第 2 条		基金の運営並びに支出は理事会の決議により理事長が行う。	第 9 条 運営及び支出の主体		入会金基金の運営並びに支出は理事会の決議により理事長が行う。
第 3 条		本基金は次の事項に掲げるものをもって収入とする。 1) 寄付金 2) その他の収入	第 10 条 収入		入会金基金は次の事項に掲げるものをもって収入とする。 (1) 寄付金 (2) その他の収入
第 4 条		本基金の支出は、前年度に発生した利息と当該年度会員拠出金との合計額を限度として支出することができる。	第 11 条 支出		J C 基金の支出は前年度に発生した利息と当該年度に拠出した金額との合計額を限度として支出することができる。
第 5 条		本基金は基金とし、毎年 12 月決算を行う。	第 12 条 決算		入会金基金は一般会計とし、毎年 12 月決算を行う。
第 6 条		理事長は予算および決算を作成し、一般会計と同様の手続きにより総会の承認を得なければならない。	第 13 条 総会の承認		理事長は予算及び収支を作成し、総会の承認を得なければならない。
第 7 条		本規定は昭和 63 年 11 月 24 日より施行する。 平成 5 年 11 月 12 日一部改正 平成 6 年 11 月 25 日一部改正 平成 18 年 12 月 1 日一部改正			

議対象資料● 現行ブルーアース基金規定と基金規程変更案の対比表

		現行規定		変更案
				<b>第 3 編 ブルーアース基金規程</b>
第 1 章 総則			第 1 章 総則	
第 1 条 (名称)		社団法人札幌青年会議所は、次条の目的達成の為ブルーアース基金（以下「基金」という。）を設定する。	第 1 4 条 設定	本会議所は、次条の目的達成の為ブルーアース基金を設定する。
第 2 条 (目的および事業)		この基金は、ブルーアース宣言に基づき、札幌市民の生活・文化の向上に寄与するまちづくり並びに人づくりを目的として活動している他団体への金銭給付をとおり、その活動を支援することを目的とする。	第 1 5 条 目的	ブルーアース基金は、ブルーアース宣言に基づき、札幌市民の生活・文化の向上に寄与するまちづくり並びに人づくりを目的として活動している他団体への金銭給付をとおり、その活動を支援することを目的とする。
第 3 条 (財産)		この基金の当初財産は金 1 2, 8 4 0, 7 4 4 円である。	第 1 6 条 金額	ブルーアース基金の本規程制定時の金額は〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇円であり、設立当初の金額は 1 2, 8 4 0, 7 4 4 円である。
第 4 条 (運用)		本基金の財産の運用は信託業法による信託銀行または銀行業法による銀行への預け入れによるものとし、他のいかなる運用方法にもよらないものとする。	第 1 7 条 運用	ブルーアース基金の運用は信託業法による信託銀行又は銀行業法による銀行への預け入れによるものとし、他のいかなる運用方法にもよらないものとする。
第 2 章 運営委員会			第 2 章 運営委員会	
第 5 条 (運営委員会)		この基金の目的達成を円滑ならしめるため、ブルーアース基金を運営する委員会（以下「運営委員会」という。）を設置する。	第 1 8 条 運営委員会の設置	ブルーアース基金の目的達成を円滑ならしめるため、ブルーアース基金を運営する委員会（以下「運営委員会」という。）を設置する。
第 6 条 (任務)	1	運営委員会は、第 2 条に定める本基金の目的を達成するため、給付対象者の選考および給付額の決定に関する事務手続きを行う。	第 1 9 条 任務	1 運営委員会は、第 1 5 条に定めるブルーアース基金の目的を達成するため、給付対象者の選考及び給付額の決定に関する事務手続きを行う。
	2	項に規定するもののほか、運営委員会は理事会の諮問に応じ、この基金の事業実施につき必要と認める事項について報告する。		2 前項に規定するもののほか、運営委員会は理事会の諮問に応じ、ブルーアース基金の事業実施につき必要と認める事項について報告する。
第 3 章 審査委員会			第 3 章 審査委員会	
第 7 条 (審査委員会)		この基金の目的達成を円滑ならしめるため、ブルーアース基金審査委員会（以下「審査委員会」という。）を設置する。	第 2 0 条 審査委員会の設置	ブルーアース基金の目的達成を円滑ならしめるため、ブルーアース審査委員会（以下「審査委員会」という。）を設置する。
第 8 条 (委員長)	1	審査委員会の委員長（以下「審査委員長」という）は、理事長とする。	第 2 1 条 委員長	1 審査委員会の委員長（以下「審査委員長」という）は、理事長とする。
	2	審査委員長は、次条に定める審査委員の中から副委員長を任命し、自己の職務の一部を代理させることができる。		2 審査委員長は、次条に定める審査委員の中から副委員長を任命し、自己の職務の一部を代理させることができる。
第 9 条 ( 審 査 委 員 )	1	審査委員は、この基金事業に関しその目的を良く理解する者 5 人以上を理事長が指名し、理事会がこれを承認する。	第 2 2 条 審査委員	1 審査委員は、この事業に関しその目的を良く理解する者 5 人以上を理事長が指名し、理事会がこれを承認する。
	2	審査委員の任期は 1 年とする。ただしその再任を妨げない。		2 審査委員の任期は 1 年とする。ただしその再任を妨げない。
	3	審査委員が死亡、辞任または解任されたときは、理事長は理事会の承認を得てこれを補充しなければならない。		3 審査委員が死亡、辞任又は解任されたときは、理事長は理事会の承認を得てこれを補充しなければならない。
	4	審査委員は無報酬とする。		4 審査委員は無報酬とする。
第 1 0 条 ( 構 成 ・ 開 催 回 数 お よ び 議 決 方 法 )	1	審査委員会は、審査委員長および審査委員をもって構成する。	第 2 3 条 構成・開催回数および議決方法	1 審査委員会は、審査委員長及び審査委員をもって構成する
	2	審査委員長は、原則として年 2 回以上、審査委員会を召集するものとする。		2 審査委員長は、原則として年 2 回以上、審査委員会を召集するものとする。
	3	審査委員会の成立は、構成員の過半数の出席によるものとする。		3 審査委員会の成立は、構成員の過半数の出席によるものとする。

	4	審査委員会の決定は、出席した審査委員の過半数の賛成により行う。ただし、可否同数の場合は審査委員長が決定する。		4	審査委員会の決定は、出席した審査委員の過半数の賛成により行う。ただし、可否同数の場合は審査委員長が決定する。
第11条 (審査委員 任務)	1	審査委員会は、第2条に定める目的を達成するため、給付対象者の選考と給付額の審査を行い、審査結果を運営委員会に報告する。	第24条 審査委員 任務	1	審査委員会は、第15条に定める目的を達成するため、給付対象者の選考と給付額の審査を行い、審査結果を運営委員会に報告する。
	2	前項に規定するもののほか、審査委員会は運営委員会に対し、この基金の事業実施につき必要と認める事項について報告・助言する。		2	前項に規定するもののほか、審査委員会は運営委員会に対し、ブルーアース基金の事業実施につき必要と認める事項について報告・助言する。
	3	審査委員は、善良なる管理者の注意をもって職務を執行する。		3	審査委員は、善良なる管理者の注意をもって職務を執行する。
第12条 (審査委員 の解任)		審査委員としてふさわしくない行為があったとき、または心身の故障のため職務の執行に堪えないと認められる時は、理事会において3分の2以上の議決に基づきその審査委員を解任することができる。	第25条 審査委員 の解任		審査委員としてふさわしくない行為があったとき、又は心身の故障のため職務の執行に堪えないと認められる時は、理事会において3分の2以上の議決に基づきその審査委員を解任することができる。
第4章 事業の執行			第4章 事業の執行		
第13条 (事業年 度)		この基金の事業年度は、毎年1月1日から12月31日迄とする。	第26条 事業年度		ブルーアース基金の事業年度は、毎年1月1日から12月31日迄とする。
第14条 (事業執行 の方法)	1	運営委員会は、審査委員会の審査の結果に基づき、理事会に対し給付対象者および給付金額を議案として提出する。	第27条 事業執行 の方法	1	運営委員会は、審査委員会の審査の結果に基づき、理事会に対し給付対象者及び給付金額を議案として提出する。
	2	運営委員会は、総会の承認に基づき金銭の給付を行う。		2	運営委員会は、総会の承認に基づき金銭の給付を行う。
第15条 (給付限度 額)		毎事業年度の給付総額は、500万円を限度額とする。	第28条 給付限度額		毎事業年度の給付総額は、500万円を限度額とする。
第16条 (一般会計 及び基金か らの繰り入 れ)		第2条の目的達成のため、社団法人札幌青年会議所総会の承認に基づき、当該年度の特別負担金の全部または一部を基金収入として受け入れることができる。	第29条 繰り入れ		第15条の目的達成のため、本会議所総会の承認に基づき、当該年度の特別負担金の全部又は一部をブルーアース基金として拠出することができる。
第17条 (寄付金)		本基金の目的達成に必要な場合は、広く一般から適当な方法により寄付金を受けることができる。	第30条 寄付金		ブルーアース基金の目的達成に必要な場合は、広く一般から適当な方法により寄付金を受けることができる。
第18条 (授与式)		社団法人札幌青年会議所は、金銭の給付を行うに当たり、授与式を開催する。	第31条 授与式		本会議所は、金銭の給付を行うに当たり、授与式を開催する。
第5章 財産の管理			第5章 財産の管理		
第19条 (管理運 用)	1	本基金の会計は毎事業年度ごとに基金会計をもって処理する。	第32条 管理運用	1	ブルーアース基金の会計は毎事業年度ごとに一般会計の決算として処理する。
	2	第3条により預け入れた本基金の管理運用は、社団法人札幌青年会議所専務理事（以下「専務理事」という。）がこれを行う。		2	ブルーアース基金の管理運用は、本会議所専務理事（以下「専務理事」という。）がこれを行う。
	3	専務理事は前項による管理運用について毎事業年度終了後理事会に報告しなければならない。		3	専務理事は前項による管理運用について毎事業年度終了後理事会に報告しなければならない。
第20条 (費用)		本基金の事業執行に要する費用は、本基金より支弁されない。	第33条 費用		ブルーアースの事業執行に要する費用は、ブルーアース基金より支弁することができる。
第21条 (予算及び 決算)		ブルーアース基金の目的を達成するため、理事長は、予算および決算を作成し、他の基金と同様の手続きにより総会の承認を得なければならない。	第34条 予算及び収 支		ブルーアース基金の目的を達成するため、理事長は、予算及び収支を作成し、総会の承認を得なければならない。
第6章 基金の終了			第6章 基金の終了		
第22条 (基金の終 了)		本基金は、第2条の目的の達成もしくは達成不可能となったときに、総会の承認を得て終了する。	第35条 基金の終了		ブルーアース基金は、第15条の目的の達成もしくは達成不可能となったときに、総会の承認を得て終了する。
第23条 (残余財産 の処分)		総会は、本基金終了の際、残余財産がある場合は、その決議をもって本基金を類似の目的を有する公益信託または公益法人に寄附するものとする。	第36条 残余金の処 理		総会は、ブルーアース基金終了の際、残余金がある場合は、その決議をもってブルーアース基金を戻り入れるものとする。

第 7 章 雑 則			第 7 章 雑 則		
第 2 4 条 (条項の改 正)		本基金の改正は、運営委員会が理事会に議案を提出 したうえ、総会の承認をもって行うものとする。	第 3 7 条 条項の改正		ブルーアース基金の改正は、運営委員会が理事会 に議案を提出したうえ、総会の承認をもって行う ものとする。
附 則		本規定は平成 1 8 年 1 月 1 日より施行する。 平成 6 年 1 1 月 2 5 日一部改正 平成 9 年 8 月 2 6 日一部改正 平成 1 5 年 1 月 3 0 日一部改正 平成 1 7 年 1 1 月 2 9 日一部改正 平成 2 1 年 1 月 3 0 日一部改正	附 則		この規程は本会議所の設立登記の日から施行す る。